

NEWS 絆

東北生産性本部

令和4年度 仙台シンポジウム2月例会開催

「アメリカ政治の行方と今後の日本外交」

令和4年度 仙台シンポジウム2月例会は、株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました。

■ 2月例会（2023年2月22日開催）

講師 株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏
プロフィールなど

1984年一橋大学社会学部卒、日商岩井(株)入社。広報誌『トレードピア』編集長、米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会代表幹事秘書・調査役等を経て企業エコノミストに。日商岩井とニチメンの合併を機に2004年から現職。

関心領域は日本経済、米国政治、外交・安全保障論等。大阪経済大学客員教授、一般財団法人国際開発センター理事、NPO法人岡崎研究所理事等を務める。フジサンケイグループから第14回「正論」新風賞受賞。

ウェブサイト『溜池通信』を主宰。著書に『気づいたら先頭に立っていた日本経済』、『溜池通信 一いかにもこれが経済』他。



【ご講演要旨】

アメリカ中間選挙後における今後のアメリカ政治の行方と、その中での日本や岸田政権の日本外交について、分かりやすくご解説いただきました。

- アメリカの今後の主要政治外交日程
- 中間選挙(2022. 11. 8)と2024年に向けての動き
- これまでの実績から見るバイデン外交 ～同盟国から見た「期待」と「不安」～
- 2023年最大の不透明要素はウクライナ
- 米中関係のポートフォリオ in 2023
- 日米関係～1月の日米首脳会談を振り返る
- 日本外交、秘伝のノウハウか？ 2つの米大統領訪日+2つのG7サミット
- 「ボーダフルエコノミー」時代の企業
- これからは「経済安全保障」が重要に
- しかるに経済と安全保障は話が噛みあわない

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

2023年度 仙台シンポジウムの予告

2023年度仙台シンポジウムは、これまでの企業経営、政治、地方創生、マクロ経済、国際関係、国際政治の6ジャンルに、DXを加えた7ジャンル(年7回)の講演会開催を予定しております。

現在、仙台シンポジウムの講師検討を行っておりますが、全体計画が取り纏まりましたら、年間計画のご案内をさせていただきます。皆さまからのお申込みをお待ちしております。

2023年度の仙台シンポジウムに、乞うご期待下さい。